

## 一般質問通告一覧

平成28年第2回島田市議会定例会  
平成28年6月10日・13日・14日本会議

島田市議会

◎ 発言順位

(頁)

平成28年6月10日(金)

5番	森 伸 一	議員 (一問一答)	-----	1
13番	大石 節 雄	議員 (一問一答)	-----	2
16番	八木 伸 雄	議員 (一問一答)	-----	3
18番	平松 吉 祝	議員 (一問一答)	-----	4
1番	青山 真 虎	議員 (一問一答)	-----	5
7番	清水 唯 史	議員 (一問一答)	-----	6

平成28年6月13日(月)

15番	福田 正 男	議員 (一問一答)	-----	7
11番	佐野 義 晴	議員 (一問一答)	-----	8
2番	杉野 直 樹	議員 (一問一答)	-----	9
8番	村田 千鶴子	議員 (一問一答)	-----	10
17番	藤本 善 男	議員 (一問一答)	-----	11
4番	山本 孝 夫	議員 (一問一答)	-----	12
6番	伊藤 孝	議員 (一問一答)	-----	13

平成28年6月14日(火)

12番	仲田 裕 子	議員 (一問一答)	-----	14
10番	桜井 洋 子	議員 (一問一答)	-----	15
3番	横田川 真 人	議員 (一問一答)	-----	16

○一般質問の質問時間のめやす

質問者	1人目	2人目	3人目	4人目	5人目	6人目	7人目
質問 時間	9:30 ~ 10:20	10:20 ~ 11:10	11:10 ~ 12:00	13:00 ~ 13:50	13:50 ~ 14:40	14:50 ~ 15:40	15:40 ~ 16:30

あくまでもめやすです。

議員により質問時間は変動しますので、あしからず御了承ください。

## 1. 5番 森 伸一 議員 (一問一答)

### 1. 市の防災対策について

本年4月には島田市原子力災害広域避難計画(骨子)が策定され、同じく4月に発生した熊本地震に対して島田市は嘉島町に職員を派遣し対応するなど、防災対策に取り組んでいる。これらに関して以下伺う。

- (1) 嘉島町派遣調査の活動内容に、市の防災体制充実への教訓収集とあったが、どのような教訓が収集できたか。
- (2) 熊本地震では5つの市町庁舎が壊れて使用できなくなったが、これらの庁舎の耐震判定ランクなどの情報をどの程度把握しているか。
- (3) 避難計画が策定されたが実効性について多くの疑問がある。島田市が放射能汚染を強く受ける可能性が強いのは南からの風が吹く時だが、同様な影響が予想される静岡市や富士市を避難先に指定した理由は何か。
- (4) 今回の避難計画は単独事故を想定して作られたと聞いたが、大地震との複合災害の場合の避難計画はいつ策定するか。
- (5) 避難計画の説明会を既に幾つかの場所で開催したようだが、市民の反応をどのように把握しているか。

### 2. 第7次島田市高齢者保健福祉計画について

昨年3月に第7次島田市高齢者保健福祉計画が策定され1年が経過した。高齢者保健福祉の施策等について以下伺う。

- (1) しまだ健幸マイレージの周知、協力店の拡大や魅力ある事業の工夫などはどのように進み、マイレージ参加者数は何人か。
- (2) 介護予防・生活支援サービスの基盤整備はどのように進んだか。
- (3) 在宅医療・介護連携の推進はどのようになったか。

1. 観光振興施策について

新東名島田金谷インターチェンジや富士山静岡空港の立地による効果を踏まえて、今後の島田市の経済的効果や雇用創出効果、広域観光連携等による若者の定住・移住促進効果など、観光振興によるさまざまな可能性を探るべく以下質問する。

(1) 観光振興による経済効果について

- ① 観光交流人口や市内宿泊客数などが増えてきている。どの程度の経済効果がある  
と考えるか。
- ② 宿泊や観光施設利用以外での経済効果をどのように捉えているか。

(2) 観光振興による雇用創出について

- ① 観光振興施策により雇用創出効果はどの程度あったか。
- ② 今までにはない新たな観光産業の取り組みはあるか。
- ③ 市として観光産業の起業に対して支援策は考えているか。

(3) 広域観光連携について

- ① 広域観光連携の現状について伺う。
- ② 広域観光連携の効果について伺う。
- ③ 広域観光連携の今後の取り組みについて伺う。

(4) 観光振興による若者の対応について

- ① さまざまな祭りやイベントでの若者からの影響はどのように考えているか。
- ② 若い人の力を引き出すためにどのようにしているか。

(5) 観光振興施策と観光協会の関係はどのようなものか。

### 3. 16番 八木 伸雄 議員 (一問一答)

#### 1. 全ての事業を市内業者に発注を

これまで、市の備品並びに公共事業を市内の業者に発注するよう幾度となく要望してきた。都度、改善するかのような答弁であったが、今もなお改善されていない。本当に改善する気があるのか。改善しない理由を伺う。

- (1) 消防ポンプ自動車を市内業者に発注できないのはなぜか。
- (2) 旧川根町内を走る住民混乗スクールバスの修理・点検を川根本町の業者に発注している事実を把握しているか。
- (3) 市道の舗装はすべて市内業者に発注できているか。

#### 2. これでもいいのか茶業対策

島田市緑茶化計画が発表され、各所で情報発信されている。お茶のまちをPRすることが目的ということだが、年々衰退する茶業の現状を見たとき、同事業に何の意味があるのか。現実的な対応を求める農家や茶商は多い。お茶の振興策、販売対策を伺う。

- (1) 島田市緑茶化計画の人件費を含めた総事業費は幾らか。
- (2) 同事業による成果はどのようなものがあるか。事業の成果を数値で換算した際の評価はどうか。
- (3) ことしの市内の一番茶の生産状況をどう判断しているか。
- (4) 海外への販売に力を入れるということだが、取り組んでいる具体的事業、販路開拓先や参加している茶商の数など実態はどうか。
- (5) 国内への販売対策を考えているか。
- (6) 茶業の衰退とともに荒廃茶園が増加している。そのことにより茶畑が隣接している農家の栽培管理に負担が増すと思われる。対策を考えているか。

#### 4. 18番 平松 吉祝 議員 ( 一問一答 )

##### 1. 自主財源確保について

地方分権一括法が2000年4月に施行されてから16年、まだまだ道半ばであるが、地方の自立は財政的自立なくしては成り立たない。いかに歳入増を図っていくかは行政の喫緊の課題である。市もさまざまな試みを遂行しているが、市民サービスの向上や地域経済の活性化に貢献するため、市長にはさらなる陣頭指揮をとっていただきたい。自主財源確保について以下伺う。

- (1) 市民サービスの向上や地域経済の活性化に貢献するため、市の刊行物や封筒に企業広告を取り入れることは今や一般的となっているが、公正さや品位の観点から慎重な取り組みが必要である。島田市ならではのアイデアを使い公共物への広告掲載を行うてはいかがか。
- (2) 徴税担当職員の勤務時間にシフト制を導入したり、滞納市税の徴収方法にさらなる創意工夫が必要ではないか。
- (3) 企業誘致に加え、市有地や市有物件を譲渡して起業者の公募を行い、市の活性化を図るべきではないか。

##### 2. ご当地ナンバープレートの導入を

ご当地ナンバープレートを導入し、全国から注目される島田市独自のナンバープレートを作成することで、活性化の一翼を担うべきである。市民からアイデアを募り作成してはいかがか。

5. 1番 青山真虎 議員 (一問一答)

1. 止まらない人口流出について

ことし3月4月の人口減少数が県内トップクラスになってしまった。過去数年の人口推移から要因を検証し、今後の対策を探っていく。

(1) この3年の人口推移はどうなっているか。

2. ペットや野生動物との共生社会について

物言わぬ自然界が人々に訴えかけている昨今、野生動物やペットとの共生について伺う。

(1) 犬を飼っている世帯は何%か。

(2) 野良猫の悩みを抱える地区について現行施策で解決できるのか。

(3) 野生動物への基本的な姿勢はどうか。元田代の郷陸上競技場予定地の今後の開発も含めて伺う。

3. 長年の課題の今後について

あらゆる課題のなかで今回はふたつをピックアップして質問する。

(1) 金谷小学校屋内運動場の雨漏りが報告されてから何年経つのか。修繕はしないのか。

(2) 大地震がきても新市民病院は大丈夫といえる地盤か。

## 6. 7番 清水唯史 議員 (一問一答)

### 1. 「市政への取組実施状況評価」について

平成25年5月染谷市長が就任時において、約束された具体的な30項目の公約《“3つのC”30項目の公約》の取り組みの平成27年度末時点での実施状況評価の結果が公表された。評価結果は「未着手項目0」、「検討中項目2」、「実施中項目23」、「完了項目5」となり、実施中と完了を合わせた実施率は93.3%であるとのことである。

公平・公正な市政の実現を目指し市政の透明性を確保する観点から、公表されたこの評価結果について、その内容を以下伺う。

- (1) 30項目全体を通じ市長自らの評価を伺う。
- (2) 「地縁や利害関係にとらわれない公平・公正な市政を実現します」の取り組みにおいて、平成26年度、平成27年度に開催された女性議会の実施趣旨とその成果をどのように検証したか。
- (3) 「市民委員・外部委員による事業仕分けを実施します」の取り組みにおいて、事業仕分けの成果をどのように捉え、その後の施策に取り入れたか。また新たな行政評価手法とはどのようなものか。
- (4) 「浜岡原子力発電所の再稼働は慎重に判断します」の取り組みにおいて、UPZ圏内の5市2町、県及び中部電力㈱との安全協定の締結に向けた現在の状況を伺う。
- (5) 「市民とともに地域主体のまちづくりを推進します」の取り組みにおいて、自治基本条例制定に向けた検討の経緯と市民全体への趣旨説明について、今後の考えを伺う。
- (6) 「生きがいを高める高齢者・障がい者福祉を推進します」の取り組みにおいて、障害者施設の自主製品販売事業にじいろ市場開催の成果をどのように捉えているか。
- (7) 「国、県と連携して静岡空港の利活用を推進します」の取り組みにおいて、富士山静岡空港の具体的利活用促進の施策を伺う。
- (8) 「新東名金谷IC周辺の土地利用計画を策定します」の取り組みにおいて、農振除外の現状及び企業誘致の現況を伺う。
- (9) 「他団体と連携を図り、茶業の営農支援を推進します」の取り組みにおいて、消費拡大の具体的取り組みとその成果を伺う。

### 2. ふるさとPRの施策について

平成27年8月、9月に日本通運㈱代表取締役会長川合正矩氏、俳優別所哲也氏の両氏がふるさと大使に任命され島田市のPRに寄与されている。その活動について以下伺う。

- (1) 両大使の活動の内容を伺う。
- (2) 今後の両大使に期待する活動を伺う。
- (3) 今後、同様なふるさとPRの施策を伺う。

## 7. 15番 福田 正男 議員 ( 一問一答 )

### 1. 仮称馬術トレーニングセンターの設立について

ことは、オリンピックの年である。リオデジャネイロオリンピックには島田市から水泳の長谷川選手、パラリンピックに藤本選手、米田選手ら3選手が出場予定となっている。島田市にとって大変名誉なことであり多くの青少年に大きな励みとなっている。さらに、2020年には東京オリンピックが開催される。多くの競技団体や個人が出場に向けて研鑽努力しているところである。そのような中、島田市内の有志の方が馬術クラブを立ち上げようとしている。2020年の東京オリンピック出場も視野に入れて選手の育成を図っていききたいという。その事業の趣旨に深く感銘しぜひとも応援したく、今回の質問に至った次第である。以下の点について伺う。

- (1) 有志の方が作成した事業計画では、島田市において馬術競技者を育成し、国民体育大会、全日本ジュニア、全日本大会、などで活躍できる競技者を育成、そのなかからアジア大会、世界選手権、オリンピック選手を輩出することを目的とする。また馬や動物を通じ、障害者や小さい子どもから、高齢者までふれあいの場所を提供し島田市民に馬術の啓発を深めていきたいとあるが市はどのように理解しているか。
- (2) 事業規模として必要な土地の面積は4,000坪以上となっている。田代の郷の以前陸上競技場として整備されたところは6,000坪と聞いている。市として今回の事業に提供するつもりはないか。
- (3) 公益目的として、保育園、幼稚園や介護施設、障害者などに馬や動物との触れ合いの場所を提供し、登校拒否児などが馬と触れ合い世話をしたりすることで改善することが多く報告されている。医師と連携し、アニマルセラピーを実践するとあるが市としてその効果はどの程度と認識しているか。
- (4) 地方創生が叫ばれている中、地場産業を育成することが急務であり、雇用の確保や交流人口の拡大、さらに定住移住促進を進めていくためにも重要な事業と考える。市として取り組む考えはあるか。

### 2. 蓬萊橋お休み処整備事業について

- (1) 今後の具体的な計画スケジュールを伺う。
- (2) ミズベリング協議会はどのような役割を果たすのか。
- (3) 観光周遊バスはその後どのようなになっているか。

### 3. 木造3階建ての校舎の整備について

文部科学省は、公共施設で国産材利用を促進する林業振興の一環として、木のぬくもりが感じられる学校を増やそうというキャッチフレーズのもと、木造3階建ての校舎の整備を自治体に奨励している。今後の市の取り組みを伺う。

## 8. 11番 佐野義晴 議員 (一問一答)

### 1. まちづくりと土地利用について

これからのまちづくりは、人口減少と土地利用のあり方を一体的に捉える必要があり、土地利用は需要と供給のバランスで成り立つ。そのバランスを図るとき農地の転用も話題になるが、そこにはさまざまなハードルがあって容易にはいかないのが現実である。

しかし、農地は後継者不足等から耕作放棄地が拡大し過剰気味と考える。これらの対策として法の規制緩和が考えられるが、それには将来を見越した政策判断が必要となる。

以上を踏まえ、以下伺う。

(1) 大井川左岸の旧市内の土地利用の状況とこれからについて伺う。

- ① 住宅系用途地域内に活用可能な未利用地はあるか。
- ② 工業系及び商業系誘致用地として活用可能な未利用地はあるか。
- ③ 当該区域内の土地利用に係わる課題は何か。
- ④ 農業の現況と農業施策のあり方及び農地転用を進めるにあたっての課題は何か。

### 2. 公共施設再配置計画と防災避難所について

本年4月に熊本県を中心に大きな地震が発生した。

その折のニュースで災害本部となるべき市庁舎や緊急性が求められる病院等が使えない報道に衝撃を受け、改めて地震の恐ろしさと事前対応の必要性を感じ、以下伺う。

- (1) 市庁舎を初めとする公共施設に何らかの対応見直しの必要性はないか。
- (2) 自主防災会別避難場所の安全性及び耐震性を伺う。

## 9. 2番 杉野直樹 議員 (一問一答)

### 1. 市の観光について

島田市は多くの観光資源を有するまちであると認識しているが、観光のまちであるという認識は全国的にも低いと考える。今後、市の産業振興を進めていく中、観光産業も産業の柱として考えていくのであれば島田市にはどのような観光が必要なのか、以下伺う。

- (1) 市が目指すこれからの観光産業振興とはどのようなものか。
- (2) 昨年市内に観光目的で訪れた方は何人か。

### 2. 交通弱者に対するこれからの対策について

市内で高齢者や障がいを持った方が外へ出かける手段がなく、買い物もままならない方がいると聞く。今後、少子高齢化により買い物難民といわれる方の増加が予想されることから、市の対策を伺う。

- (1) 市にとって交通弱者とはどのような方か。
- (2) 市内に交通弱者といわれる方は何人か。
- (3) 地域的に交通弱者が集中している地域はあるのか。
- (4) 島田市において交通弱者といわれている方の交通手段は何か。

### 3. 市民への市政情報の周知方法について

情報公開による市民への市政情報の周知は協働のまちづくりを推進する上で必要不可欠と考える。しかしながら、これまでの方法では多くの市民に情報を周知することは大変難しく、新たな周知方法を考えなくてはならない時期に来ていると思われることから、以下伺う。

- (1) 現在の市政情報の市民への周知率はどの程度か。
- (2) 市政情報の市民への周知は現在の発信ツールで十分か。
- (3) 今後、新たな市政情報の発信方法を考えているか。

1. 中心市街地の活性化について

本市は、平成29年の中心市街地活性化基本計画策定に向けて、賑わい創出のためにまちなか全体をどうデザインしていくのかを主な課題としており、今年度は空き店舗や市民ニーズの調査等により現状を把握し、方向性を決めていくと聞いている。

私は、商工業者はもとよりさまざまな分野の事業主体がかかわり、多様な都市機能の集積を図ることにより中心性が高まり、定住化の促進や交流人口の増加など中心市街地の賑わいの創出につながるものと考えている。

そこで、計画策定にあたり以下、市長の見解を伺う。

- (1) ことしは島田大祭の年である。これを契機に「見せるまち」の観点から、行列や屋台の運行状況等を表示する電光表示機大型ビジョンを設置するなど、来訪者へのガイド機能強化を強化する考えはないか。
- (2) 島田大祭はビジネスモデル化の好機でもある。「稼ぐまち」の観点から、大祭関連物品やサービスへの補助・奨励や販売拠点の設置を行うなど、産業支援センターとも連携して、積極的に需要を喚起していく考えはないか。
- (3) かねてよりぴ〜ファイブ1階部分の利活用が課題になっていると聞く。「集うまち」の観点から、大祭にちなんだまちかどギャラリー、起業（インキュベーター）支援スペース、さらには地域福祉・介護のサービス拠点施設など公共的な利用を検討する考えはないか。

2. スポーツ施設の整備について

本市は、高齢化社会に対応し市民ひとり1スポーツを推奨するとともに、シニアスポーツの促進に向けて、かねてより会場や対戦チームの調整、宿泊場所の確保等の支援を行ってきている。その内容の一つとして、シニアスポーツコンシェルジュによる汗活では「運動の後は温泉で汗を流そう」とする活動が展開されていることから、各種スポーツ施設の環境整備を継続して図ることが、健康増進、地域の賑わい及び周辺への経済効果につながるものと確信する。

そこで、以下、市長の見解を伺う。

- (1) スポーツ施設の現状及び今後の課題は何か。
- (2) 汗活のこれまでの実績、成果及び今後の課題は何か。
- (3) 田代の郷陸上競技場計画が凍結されてはや3年余り経過した。この現状をどのように考えているか。

## 11. 17番 藤本 善男 議員 ( 一問一答 )

### 1. 土砂災害に対する備えについて

日本各地で発生している自然災害は市民生活に多大な影響を与え続け、自治体においても災害発生時の対応は一刻の猶予もない。島田市は中山間地が多いことから地震や台風などによる土砂災害が多く、市内には多くの危険箇所が存在しているが、今後の市民生活の安全確保に向け、以下伺う。

#### (1) 市内の土砂災害危険箇所の現状について

- ① 市内で指定を受けている土砂災害警戒区域の実情はどのようになっているか。
- ② 市民に向けた災害危険区域の周知は徹底しているか。

#### (2) 災害から市民を守るための施策について

- ① 災害発生時の市の対応はどのようになっているか。
- ② 今後危険箇所数を減らす対策はどのように考えているか。また万一の災害発生時の被害や日常生活への影響を最小限に食いとめるための対策は考えているか。

### 2. 教育現場の課題について

少子高齢化による児童・生徒数の減少にもかかわらず教職員の多忙感は強く、その一方で学校が責任を問われる事例も全国では増加していると聞く。

市では地域の教育課題やあるべき姿を共有し、民意を反映した教育行政推進のため総合教育会議も立ち上げているが、教育現場での課題について以下伺う。

#### (1) 教職員の多忙化解消について

- ① 学校現場における教職員の勤務実態をどのように把握しているか。
- ② 市の予算で行っている教職員の支援体制はどのようになっているか。

#### (2) 学校が責任を問われる事例について

- ① 学校が責任を問われるような事例は、過去どのような発生状況か。
- ② 学校が責任を問われる事態に対する市の体制はどのようになっているか。

### 3. 島田市総合計画後期基本計画の進捗管理と次期総合計画について

平成26年度から平成29年度までの4年間を計画期間とした島田市総合計画後期基本計画は2年が経過し、先日平成26年度実績も公表された。

これまでの実績を確認するとともに、残された期間の活動及び次期総合計画策定に向けた取り組みについて、以下伺う。

#### (1) 後期基本計画の取り組みについて

- ① これまで実施した事業の成果と取り組みに対する市の評価を伺う。
- ② これまでの実績を踏まえ、今後強化すべき施策は何か。また今後の取り組む内容はどのように事業へ反映していくのか。

#### (2) 次期総合計画と島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の連携について

- ① 次期総合計画策定スケジュールはどのようになっているか。
- ② 島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定時の市の人口ビジョンや施策は次期総合計画にどのように反映する予定か。

## 12. 4番 山本孝夫 議員 (一問一答)

### 1. 自治基本条例における市の基本姿勢を問う

自治基本条例の検討は多くの市民会議を経て、また平成27年12月にはシンポジウムも開催され、現在は庁内において条文案の作成が行われていると聞いている。この条例は市にとっても市民にとっても制定されたとなれば、大変重い条例になると理解している。そこで市の基本的な考えについて、以下質問する。

- (1) 今後のスケジュールはどうか。
- (2) 市民会議はどのようなメンバー構成か。
- (3) 庁内の検討会はどのようなメンバー構成か。
- (4) 市民にパブリックコメント求めた後、修正はあるのか。
- (5) 議会側が最終案の内容を検討する期間はどれだけか。

### 2. 農業振興制度について考える

昭和44年に農業振興地域の整備に関する法律が作られ、今日まで農業施策に大きな効果と影響を与えてきた。一方で農業振興地域の指定解除については高いハードルがあり、自分の土地でありながら自由がきかない現状に悩んでいる農家の方々がたくさんいると聞いている。特に地すべり地域にお住いの農家の方は深刻で、安心して暮らせる土地がありながらそこが農業振興地域であるためにそこには住めない農家の事例を聞いている。

このような状況から、市の考えについて、以下質問する。

- (1) 農振除外の相談は担当課に年間どの程度あるか。
- (2) 地すべり防止区域、急傾斜地崩壊危険区域、警戒宣言時山・がけ崩れ危険予想地域など、いわゆる災害時において危険が及ぶであろう地域に住んでいる世帯は市にどの程度あると把握しているか。
- (3) 地すべり地域において、住居を建てる場合どのような規制があるか。
- (4) 土地利用計画を立案する際、市はこれまでに農振除外についてどのような配慮、工夫を加えてきたか。
- (5) 市民の命を守るため、農振除外を念頭に置いた土地利用計画を立てる考えはないか。

13. 6番 伊藤 孝 議員 ( 一問一答 )

1. 公共施設について

震度7が2度発生した熊本地震で、本庁舎が倒壊の危険から使用できない自治体が同県内で5自治体あったことを踏まえ、新庁舎等の建設について、以下質問する。

(1) 市庁舎、市民会館の建設について

- ① 公共施設マネジメントにおいて、新庁舎建設についての結論はいつ公表されるのか。
- ② 新庁舎建設検討委員会の開催状況はどうか。
- ③ 本庁舎、金谷庁舎、プラザおおるり及び市民会館の修繕費等は過去3年間で幾らか。また本年度の予算は幾らか。
- ④ 情報の保管、バックアップの現状はどうか。

(2) 市民病院の建設について

- ① 事業費の決定はいつか。
- ② 現在計画されている新市民病院が完成した後の次の病院建設を見据えた建設計画となっているか。

2. ICT等の活用について

民間企業はICT等の活用で事務効率が向上し、経費削減を積極的に図っているが、市とは大きなギャップがあると思う。民間から学べるところは学ぶ必要があることから、以下質問する。

(1) 経費削減について

- ① 経費削減の状況はどうか。
- ② ICT等の活用計画はあるか。

(2) 会議方法について

- ① 現状の不具合はあるか。
- ② ICT等の活用計画はあるか。

#### 14. 12番 仲田裕子 議員 (一問一答)

##### 1. 金谷庁舎のあり方について

金谷庁舎の今後については、これまで何度も質問をして来た。合併して11年目を迎えた今日においてもいまだに解決していない金谷庁舎は、ある意味旧金谷町のシンボルであり、年代によっては「金谷のこころ」のような存在である。老朽化し改修工事には多額の予算が必要となることから、解体を決断された旨の答弁があった。しかし、解体後の具体的な形がいま一つ見えて来ない。そこで、以下市長に伺う。

- (1) 市長は、耐震工事を行わず解体を決断されたが、なぜいま一度耐震の調査見積もりを取らなかったのか。
- (2) 新たな施設整備には民間活力を導入すると聞くが見込みはあるのか。
- (3) 市長は、北支所と南支所を統合する考えを示したが、合併特例債のペナルティー(返還)の額は幾らか。
- (4) 金谷地域において金谷庁舎を残してほしいと願う方々が多くいるが、説明責任はどのように果たすのか。

##### 2. 地域活性化に対する市の支援について

地域においては、さまざまな形で地域に合った活性化の行事が展開されている。市として地域活性化の行事にどのような支援を考えているか伺う。

- (1) まちづくり支援事業が、昨年より約100万円増えた理由は何か。
- (2) 本年度、いくつの団体が申請したか。
- (3) 本年5月29日にプレゼンテーションが行われたが、いくつの団体が選定されたか。
- (4) プレゼンテーションを開催した結果について、市はどのような感想を持ったのか。
- (5) この事業に関して、市民から意見が出たのか。
- (6) 昨年、地域活性化の支援事業として活用したもので、大きく変わった点は何か。また変わった理由は何か。

15. 10番 桜井洋子 議員 (一問一答)

1. 平和行政について

戦後71年となることし3月29日に安全保障関連法が施行され、派遣された海外で自衛隊員が「殺し、殺される」危険性が格段に高まってきたと思われる。一方、オバマ大統領が広島を平和記念公園を初めて訪れ追悼し、「核兵器なき世界を追求しなければならない」と発言したことは前向きな歴史的一歩だと考える。このような情勢の中「島田市平和都市宣言」を生かした平和行政の取り組みについて、以下伺う。

- (1) 「島田市平和都市宣言」を市民にどのように啓発してきたか。
- (2) この夏計画されている「平和のつどい」はどのような内容か。
- (3) 島田空襲は原爆模擬爆弾の投下訓練であり、多くの犠牲者を出した。戦争の悲惨さを語り継ぎ、核も戦争もない平和な未来を手渡していく取り組みが大事だ。その一つとして、広島、長崎で行われる平和記念式典に中学生を派遣すべきと考えるがどうか。

2. 放課後児童クラブの充実を

今年度は放課後児童クラブへの入所希望者が増え、待機児童が出る状況が生まれている。子どもの豊かな放課後の生活を保障するため、放課後児童クラブの充実を求め、以下伺う。

- (1) 公設民営11箇所、公設公営3箇所、民設民営3箇所、土曜児童クラブ2箇所の定員と利用人数はどうなっているか。また、待機児童の実態はどうか。
- (2) 定員を超えて受け入れている放課後児童クラブの増設計画はどのように進めるのか。
- (3) 夏期休業など長期休業日の受け入れ体制はどのようになっているか。
- (4) 開所時間が午後6時までの所があるが、開所時間の延長についてどう考えているか。
- (5) 指導員の研修や賃金を上げるなど待遇改善が必要だと考えるがどうか。

16. 3番 横田川 真人 議員 ( 一問一答 )

1. オレンジタウンについて

神座の住宅用分譲地であるオレンジタウンが分譲スタートしてから10年以上が経過して、いまだ売れ残っている区画がある。今後の見通しを伺う。

(1) 現在の状況はどのようになっているか。

- ① 全区画数は幾つか。また販売数は幾つか。
- ② 販売当初から現在までの価格改定の推移はどうか。
- ③ 公社が保有していることで恒常的にかかる経費は年間幾らか。

(2) 公社としては今後どのようにしていくのか。

- ① 売れ残り原因をどのように考えているか。
- ② 販売促進活動をどのようにするか。
- ③ 空き地の活用を考えているか。

2. スポーツ振興について

市には、島田球場、ローズアリーナ、マラソンコースリバティ及び横井運動公園サッカー場といった施設があり、スポーツをする環境が整っている。今後のスポーツ振興への市の考えを伺う。

(1) 環境整備について

- ① 今後、スポーツに関する施設整備の予定はあるか。
- ② 合宿誘致を含めたトップアスリートに注目してもらうためには、どのような施策が考えられるか。

(2) きっかけづくりとしての年代別の対策について

- ① 小学生向けはあるか。
- ② 高校生や大学生向けはあるか。
- ③ 社会人向けはあるか。
- ④ 高齢者向けはあるか。

(3) 市として力を入れるスポーツはあるか。